

平成 25 年 7 月 20 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム

平成 25 年度第 5 回

先程の栗原副代表幹事の挨拶にもありましたように、先週の日曜日、靖国神社の奉納吟詠に中斎塾のメンバー 10 名で参加致しました。詩吟は、やはり日本の文化を味わえるものだなど実感します。詩吟には色々な流派がありますが、我々が習っているのは教育吟詠です。日本人の伝統文化を身に染み込ませて人格向上を図るという考え方で、教育吟詠と名づけられました。終戦直後から始められて、日本各地の著名な神社仏閣に年に 1 回か 2 回、奉納吟詠をしています。靖国神社は今年で 124 回となりますが、普段の参拝では立ち入ることが出来ない神社の内に入って詩吟をさせて戴きますので、非常に厳粛な気持ちになります。

今年は伊勢神宮が 20 年に 1 回の遷宮、出雲大社は 60 年に 1 回の遷宮です。これが営々と繋げられることによって、伝統と文化を守り続けている。具体的な実務を伴って続けられるということが素晴らしいと思います。日本の伝統と歴史は大変なものです。

私は先月、出雲大社に参拝しました。神社では二礼二拍一礼が普通ですが、出雲大社は二礼四拍一礼でお参りをするのだそうです。先日、私が習っております緑村吟詠会の「みたま祭り」が谷中墓地で行われましたが、その時に来られた宮司さんに理由をお聞きしました。この世を司っている神社は二礼で、出雲大社はあの世も司っているので、現世（うつしよ）で二拍、幽世（かくりよ）で二拍、あわせて四拍なのだそうです。伊勢神宮は観光客が多いので通常は二礼二拍ですが、正当な儀式を行う際には二礼八拍一礼だという話も伺いました。

神社の話が出たところで申します。10 月に出雲大社で奉納吟詠がありまして、私も参加したいと思っています。日にちが北関東フォーラムと重なっておりますので、猪瀬理事長と岡本代表幹事に新しい試みでフォーラムをお任せすることと致しました。どうぞお願い申し上げます。

先の予定を申しますと、11 月 23 日に金鷄神社の社稷祭があります。それから 12 月 13 日に安岡正篤先生が亡くなって 30 年ということで、安岡正篤先生を偲ぶ会が計画されていま

す。私も実行委員のメンバーになっておりまして、先日も会合がありました。そこで、献詠（詩吟の奉納）を提案しましたところ、是非お願いしたいという話になりました。献詠は坂本坦道先生直系の緑村吟詠会の藤田会長さんをお願いすることにして、今、吟題を選定しているところです。詩吟の解説は石川忠久先生をお願いしたいと思って、すぐに先生に連絡をしました。内容を説明して、「詩吟の解説をお願いするのは、忠久先生をおいて他にはいません」と申し上げましたら、快く承諾して下さいました。

このように、＜この話、この願い事はあなたに頼む以外にはない＞という人を、知人にどれだけ沢山持てるか。また、＜この話は、あなた以外の人に持って行けるわけがない＞と言われることがどれくらいあるか、皆さんもどうぞお考え戴きたいと存じます。

恒例の質問

では、恒例の質問に参ります。昨日から今の時間まででお考えください。

○ 嘘をつかなかった方

皆さんサッと手が挙がりましたので、次のステップは、「嘘をつかない」とはどういう事なのか考えてみてください。更に状況を変えて、こういう場合は嘘をつかざるを得ないなと思う場合も考え始めるとよろしいですね。9割がたは嘘をつかない方が良いと断言できますが、残り1割くらいは、そう言いきれない場合があります。相手の為になる嘘も必要かなという部分も、だんだん考えて戴くとよろしいでしょう。

○ 昨日一日、良い日だったと思う方

これも皆さん手が挙がりました。一日良かったなと思えば幸せです。夜寝る時に、そういう確認をする習慣が身に付いていること自体が、非常に結構なことです。

○ 有難うと言ひ・有難うと言われた方

一日の行動を思い出して、「有難うございます」と言われたかをずっと考えてみる。無償で何かをしてあげて有難うと言われることは結構ですが、思い当たらない時は、お金を使った時を考える。お金を出すと大概、「有難うございます」と言われますね。有難うと言われている実感を毎日持っていた方が良いと思います。

○ 昨日一日、健康法を実践した方

○ 昨晚寝る時に、明日の事（今日の事）を過去形でイメージできた方

これが積み重なってくると、だんだん貯金が貯まって、それが物体に変わるはず。明日のことを過去形でイメージ出来る。そういう能力があると、お金が入って来る量と回数が人より多少増えるようです。

論語解説

今日の論語の中で、「母」という文字があります。「なかれ」と読みます。時々、「母（は）」の漢字を、真ん中の点をつなげてしまって「母」とかいてしまっているのを見かけますが、意味が違いますから間違いです。「母」の真ん中の二つの点は女性の乳房を表しています。また、似た漢字で「毋（かん）」がありますが、これは貫くという意味です。このように論語を素読する時に、見かけない変わった文字があるなと思ったら調べてみる、そういう癖をつけるとよろしいでしょう。

では、解説を致します。本日は先進第十一 25 の前半です。

【二五】子路・曾皙・冉有・公西華 侍坐す。子曰く、吾が一日爾より長ぜるを以て、吾を以てすること母かれ。居れば則ち曰う、吾を知らざるなりと。如し爾を知ること或らば、則ち何を以てせんと。子路 率爾として対えて曰く、千乗の国、大国の間に撰まり、これに加うるに師旅を以てし、之に因るに飢饉を以てせんに、由や之を為めば、三年に及ぶ比おい、勇有りて且つ方を知らしむべしと。夫子 之を哂う。求 爾は如何と。対えて曰く、方六七十、如しくは五六十、求や之を為めば、三年に及ぶ比おい、民を足らしむべし。其の礼楽の如きは、以て君子を俟たんと。赤、爾は如何と。対えて曰く、之を能くすと曰うには非ず、願わくは焉を学ばん。宋廟の事、如しくは会同に、端章甫して、願わくは少相と為らんと。

論語は何となくで結構ですので、状況をイメージするようにして下さい。

学者の先生方によって多少違いますが、この時、孔子が 71 歳、子路 62 歳、曾皙 45 歳、冉有 42 歳、公西華 29 歳です。最晩年の孔子を囲んで、60 代、40 代、20 代という、師匠と弟子の会話です。

子路・曾皙・冉有・公西華が孔子の側に座っていた時、孔子が言いました。

「私はお前たちより多少年長だから、遠慮しないで何でも好きなことを言ってごらん」

「ならば申しますが、誰も私を認めてくれません」・・・孔子のお弟子さんたちは、今で言う就活で集まっているわけです。孔子の弟子になっていれば、あちこちの国の大臣または次官クラスで迎えてくれると思って来ているので、早く私の就職先を見つけて下さいと訴える気持ちが言外にあります。

「では、もし認められたなら何をしたいか聞かせてごらん」・・・お前が認められないのは、お前の努力不足だけれど、答えによってはお前の希望するポストに斡旋してあげてもいいよという気持ちが多少ちらついています。

子路が不作法にガツと立ち上がって、「戦車が千台あるような諸侯の国が、二つの大国に挟まれている。そういう国に招聘されたならば、私は軍隊をきちんと組織して対応するように国の力を上げる。更に、飢饉が襲ってきたとしても、3年もあればまともな国にしてみせます。勇気凛々の国民にして、正義の方向へ国民を向かわせましょう」と答えました。

それを聞いて、孔子が苦笑いをしました。

千乗の国とは、現代に置きかえると日本や韓国を考えて下さい。それが大国の間に挟まれているとありますから、アメリカや中国、ロシアを考えればよろしいでしょう。色々なアンケート結果をみると、「外国から侵略されたら戦うか」という質問に対して、戦わないと答える割合が、日本人の若者はダントツに多いという結果が出ているようです。そのような国でも三年で何とかしてみせると子路が答えたので、孔子が、「そんなに簡単に出来るわけがないだろう。もう少し謙譲の美德を発揮してごらん。勢いばかり余らせてはいけないよ、と腹の中で思って苦笑いをしたわけです。

次いで、孔子が冉有に「お前はどうかね」聞きました。

冉有が答えて言うには「(子路の言うような千乗の大国でなく) 六、七十里四方あるいは五、六十里四方の小さな国を私が治めたならば、同じく 3 年くらいで国民を衣食足るところまでは何とか出来ます。但し、礼節や文化までは私の実力では十分に出来ないの、君子が登場するのをお待ちします」・・・子路が笑われてしまったので、冉有が少し控えめに話をしています。

次いで孔子が公西華に「お前はどうかね」と聞きました。

公西華が答えました。「国民のレベル(文化的・質的)を上げることは自分には出来ません。先生どうぞ教えて下さい。先祖の祭祀を行う時や諸侯が天子に見える集まりの時は、私が礼服を着て冠を被って儀式の進行係の補佐をしたい」・・・謙遜した公西華に対して、後半部分で孔子が「お前が補佐だったなら、誰が進行係になるのかね」と言っています。

今日は章の前半ですが、全体にお師匠さんを囲んで和やかな時間が流れています。この状況を自分自身に置きかえて考えれば、例えば同窓会で恩師を囲んで同窓生が集まっている。昔を思い出しながら現状を語り、これからを語る。お互いに忌憚ない話が出来、そういう状況を考えるとよろしいでしょう。日本の国で考えれば、お師匠さんは誰でしょうか。今や総理大臣の地位・レベルが低下していますから、お師匠さんとは考えにくいですね。やはり日本の場合は、天皇陛下の存在が大きいでしょう。

大切なものは見えない所にある

今日ご紹介する本は、木村秋則さんが書かれた『奇跡を起こす 見えないものを見る力』（扶桑社文庫）です。木村秋則さんという方は無農薬でリンゴの栽培に成功し、そのリンゴは「奇跡のリンゴ」と呼ばれ、映画にもなっていますのでご覧になった方もおられると思います。今は、講演や執筆が増えているようです。

木村秋則さんはリンゴ農家に婿に入ってリンゴの栽培をしていたのですが、農薬をもの凄く使うので、奥さんが皮膚の爛れや体調不良で悩まされるようになってしまいます。農薬を使わないと売り物にならないというのがリンゴ農家の常識だったなかで、無農薬のリンゴ栽培に挑戦します。

けれども失敗の連続で、売り物になるリンゴは出来ないし、リンゴの木は枯れだして来る。当然、食べるものにも困ります。周りからは竈（かまど）消し（竈の火を消すごくつぶし）と呼ばれ、村八分のような状況になります。

ついに自殺を決意して山に入り、木にロープを投げますが、引っかからずにロープが落ちた先に、たわわに実をつけたリンゴの木を発見します。駆け寄るとそれは栗の木だったのですが、肥料も農薬も使わないのにどうして山の木はこんなに丈夫に育っているのか・・・ハッとして根っこを見ると、土がフカフカで雑草もすっと抜けた。それをヒントに、山の土と同じ環境を作っていきます。そして9年目、ついにリンゴの花が一面に開いて実がつけました。

奥さんの為に無農薬のリンゴを栽培したいという一念でやり続けて、結果として奇跡のリンゴの栽培方法が分かった。自分の命を懸けて初めて、実感で分かったのです。木村さんのリンゴは腐らずにだんだん萎んで枯れたようになるのだそうです。食べると本当に美味しいのだそうです。

今、日本の国の食物は農薬だらけになっています。無農薬の野菜、無農薬の食べ物を作るようにすれば、日本人は少なくとも長生き出来るだろうと感じます。現代病と言われるアレルギーも農薬の影響だと言われています。最近の子供の心が荒れているのも、農薬を使った食べ物に原因があるのではないか、ということを実験に考えて取り組みを始めている団体もあります。以前申しました渋川市の農薬を使わない給食の取り組みと相通じるところがあるし、木内孝顧問の考えと相通じるところがありますので、意識的にこの本をご紹介致しました。

この本の中でおもしろいと思ったのは、「足るを知る」について少し書かれていました。太陽が人間に当たって影が出来る。欲が多ければ多い程、影が大きくなる。あれも欲しいこれも欲しいと思うほど、自分の身体を悪くするという説明になっています。

また、自分は目に見える木の幹や枝葉にばかり気をとられていたけれども、見えない根っこについては何も対策をしなかった。気が付いてから根っこを大事にしたら、どんどん変わっていった。「自分にとって大切なものは見えない所にあるという事を実感した」という部分も素晴らしいと感じました。

新聞の読み方 ―アベノミクスの展望―

ここ2、3日の新聞記事から、いくつか気になった記事をお話します。

新聞は、世論を誘導したい記事を右肩上に大きい見出しで書きます。アベノミクスがらみの良い話、景気が良くなるというような話は、大体右の一番上です。そればかりではまずいですから、それに反するものが左側にちょっと小さく書かれます。そして、これは言っておかなければいけないという記事は、小さく下の方にベタで出ます。そこに出ていた記事です。

今朝の日経新聞、「イオンのダイエー子会社化を承認」という記事。イオンのダイエー子会社化について、公取委はイオンとダイエーの店舗が競合している約260の地域について、競争を制限することがないかを検討し、いずれの地域でも2社以外のスーパーが競争力のある店舗を持っているため弊害はないと判断した、というものです。

中内功さんという方が創ったダイエーが、これで完全に人様のものになったのだと感じました。ダイエーがギブアップした時に、イオンはすぐに手を挙げました。イオンは他の会社を吸収合併しながら、どんどん大きくなっていった会社です。合併の嵐が吹き荒れた頃は、「うちと合併しませんか」が挨拶代わりにになっていた時代もあったようです。ですからダイエーの吸収はイオンの仕上げだと感じました。

新聞記事から見るものは、先程申しましたように、大きな見出しと左側の見出し、それから小見出しです。それらを見ながら、自分自身に置きかえて考える必要があります。私の家庭菜園に今、ダリアの花が盛んに咲いています。大輪の花をずっと咲かせないで、ちょっとでも陰りが出たら切ってしまうと、下の方の小さな花が次から次に大きくなって綺麗な花を咲かせる。循環がすごく速いです。イオンさんのこの動きも、そっくり同じですね。私は、巨大なものが巨大であり過ぎることによって日本の国を悪くしていくのではないかと考えています。アメリカがアメリカであり続けることによって、世界の国々はおかしくなっている。・・・というようにこの記事を読みました。

別の記事、「猛暑でコーヒー店好調」…スターバックスコーヒーが単独営業利益で過去最高を見込んでいるという記事です。ドトールも同じく、前年度比4割強伸びているとあり

ます。

とにかく良さそうなものが右上に出ます。同じく、「エアコンの暑い商戦、猛暑受け各社増産」という記事も右上にあります。

また、「日銀が物価2%上昇させるのは困難か・・・」と珍しく右上に書いてあると思いましたが、日銀は達成する見通しを維持していると書いてあります。最近の新聞を見ると、アベノミクスが好景気を演出しているという論調の記事が非常に多いですね。

更に、「北海道南西沖地震から20年、奥尻島で追悼式が行われた」という記事がありました。7月13日の新聞です。奥尻島はどんどん人口が減って、財政難で行き詰っている。20年経った今は、すっかり寂れきってしまったという内容です。

3.11の後、私は奥尻島に行って来ました。津波から復興を遂げた町といわれていますが、本当かどうか確認したいと思ったからです。津波の後、復興支援金がドーンと入って、箱物の津波対策の建物や道路の復旧工事は盛んだったけれども、工事が終わった途端にお金が無くなり、仕事も無いので若者は外に行ってしまったそうです。

デトロイト市の破産の記事もあります。「負債総額は1兆8千億円で、アメリカの自治体では最大。ゼネラル・モーターズは復活したが、生産の海外移転などにより大量の人口流出と雇用縮小は止まらず、税収は落ち込んでいた。ただ、行政サービスは続ける・・・」という書き方をしています。

アベノミクスはアメリカを手本にして進めているわけですが、そのアメリカで何が今起きているかという、結果として両極端に分かれています。アメリカは現在、1%の富裕層が全体の36%の資産を持っています。一握りの富裕層が肥大化して、貧困層はどんどん増えている状況です。

それを日本は今、真似をしている。アベノミクスの正体はそれだと私は思っています。安倍内閣は日本の国を悪くする役割を担って生まれた政権だから、一時期好景気を演出するけれども、結果として日本は転げ落ちていく。それを進める役割の内閣だと私は思っています。アベノミクスの3番目の成長戦略は、失敗するであろうと思っています。失敗をしたならば、途端に見えてくるものは、消費税は当然のことながら他の税金もべらぼうに上がるでしょう。景気は悪くなり、物価は上がり収入は減る。最悪の状況になると思います。どん底はいつになるか、安倍さんが退陣する時です。安倍さんはこの調子でいくと長期政権になります。そして、もうどうにも我慢が出来ないところで安倍内閣は退陣せざるを得ない。

私は渋澤栄一に関する本の中で、「日本はどん底まで落ちてごちゃごちゃになって、そこから良くなっていく。それには5年はかかる。日本の潮目は平成29年で、そこから良くなり始める」と書きました。

この様な見方で新聞・その他を見ています。その根幹にあるものは、日本に対する信頼感が私は非常に強い。日本がこれから回復する、再生を遂げる一番基礎にあるのは、おそらく日本語だと思います。ですから日本語の見直し運動が起きるでしょう。無ければここ中斎塾フォーラムから日本語の見直し運動を進めて行けばよいと思っています。

そこで皆さんにお聞きします。この日本語は大事にしたいな、日本人としては守りたいという言葉がありますか？

(会員)「わび・さび」、「こんにちは・さようなら」、「おかげさま」、「こころ」、「廉恥心」

・・・色々と挙がりました。皆さんももう一度お考え戴いて、お聞かせいただきたいと存じます。お時間になりました。本日の講話は終了致します。有難うございました。